

自治体学会 学術問題検討委員会 第2回

今だから語ろう「自治の理想と現実」

2021. 3. 28 (日) 14:00 ~ 16:30

論点提示 中川 英郎 氏 (東京大学名誉教授)

審判部に 10.25 学術会を問題 起す提言  
国と地方 対等  
言論の自由

任命拒否理由を明らかに  
解釈変更・変更理由を明らかに  
法治国家の原則を踏みにじり。

任命拒否と学術会への問題 (おかしな事) けど  
自治体学会としてどうするか?

会員の中心も「政治的活動、中立性をどうとらえるか?」

自民党政権だから「政治的指導」と唱えて民選の権威も  
内閣人事局の問題 加減  
政治と行政における3つの  
→ 政治の弱体化

権威の明瞭な問題、

人事介入  
学術の自由の侵害

批判の力を内在させる。

合議は行政の執行機関ではないから...  
評議員会や理事会の執行と。

行政と政治の区別が政治と行政と分けていける。  
憲法に對する批判 法治国家に對する批判と異なる

ある行政の行為は憲法に違反する。  
政治活動と 思われる場合も  
公論を保障する

学術会が構成団体としても声明を出せる。

→ 政治は行政の執行機関に於いては介入しない。  
... 確立されたもの。

スピアマン①

杉村武弘 (元藤沢市役所)

自治体学会発足時の副会長

革新委員会

当時 藤沢市長の会長

事務局 意識啓蒙のアドバイザー

自治体職員、関係者

互に互に立場の人を構成

学会会内問題

関心の差がある。

相互経験者として互の説明責任は異なる。

「科学と政治」の面々。

都市工学

1977年入行

公害、環境

下水道

大規模化に対し、自治体という面から反対。 **を積み重ねる**

このために **声を出すことか** **大事** **上** **→**

“現場に... 下水道”

国は“ウ”と言わない。

国と自治体の政策のぶつかり合い

レポートを作成しても **横入り** に入る。

企業もイノベーションを図るために

工場排水、大規模下水道。

科学から得られた知見をどう政策化していか?

議論をして政策に結びつけること **大事**

学会会内問題も議論すること重要

学会会内

科学と社会・政治

国と自治体の関係

現場の課題

自治体の政策立案をきっかけに

科学的知見を生かした市民との対話

政策の最も初めから

No. 2

国: 補助金カットの検討

市内 “国の政策に **従い** 実績を!”



市長: 国と50%の政策

理論的対応

下水道法の但書を変更して行った。

協定を結ぶ

市民のための政策

実現する意思

同世代の職員との協同

事業系職員との理解

国からどう社会・自治体

を見ていけるか。

政策の最も初めから

山崎栄子さん (大塚城市役所)

語学知見をもつていざいかに話せばいいか;

学研会と自治の両面

研究者の世界 他人事

「解釈の両面」 人々の介入の問題、程度  
の認識

しかし、

自治体の仕事

国の関与 強化されてきている

自問することない 自分と学研会との関  
連

介護保険の部署に所属

措置 → 市町村レベルで基礎決定

こと細かに国の基準 市町村の独自性あり

↳ 市町村間で市町村ラネモク

関与の仕事がいろいろ

財源的なところまで 声をあげていく。

自治体  
そのことの意味は  
どこにある?

自治体の存在は  
美しく 必要とされている  
そのためにこの習慣性。

自治体の  
存在は  
社会に

「おかしな」と誰か  
一言 発する。  
問題提起  
すること。

学研会内部に自治体(市長)の  
声をあげたか?

自分自身に 直接ぶつかって問題と気づかせる  
国にぶつか。 従う。  
127と222を 発言して

自治体がいいと思わない  
国もやっていると (公文書廃棄 2次) ぶつか  
ては思う

人の意識が 強く 振動する ことも多い。

身近な人々と話せることか 弁別か?  
意思の輪が アクションにつながる。

個人的には 自治体評議会として 表明したい。

工口関係

<国: "補填" → "あつかい" >

2書で 説明を求め 自治体の 存在した。

国に 受けて 2書に。

声をあげて しまは 市長会に ありか、  
どう なるか ありか。

福田利喜さん (陸前高田市議会)

13年向 市役所職員経験

議会人として

説明しない - 議会にたいして否定することに

震災.

まちの復興

"議会も黙って市長について采う"

国認機関から 沢の子機関 ということを(感じ)とる  
へマ.

メニュー(FECJ)があるか. 何を提案するのよ  
自治体として考えれば

学研会や同題も同じ. \_\_\_\_\_

例: ワークライフバランス

数字目標あり及 具体策なかった.

本質が. 何かかぶりの2 判断とまの2. は?  
と話をした.

一般市. 小規模自治体

"JL直し" しては 悪影響があるのでは.

ふたつにこたはふてIT化や-A発生  
郵政の必無.

"教員力"の世界で どう調整するの  
行政と. (トリアルフ-0-2. 5C)  
善政競争を促す必要

自治体学会

個々の会員の声を出してあげて. X(1. 1)

"みんなが言うから" ではない.

声を出して機会をもつことが大切

スピーカー ④

橋詰 清一郎氏 (隆成研究所)

地方自治改革 大学で学んできた世代。

学術会議 どこか遠い世界の話だった。

国会から業の世卒業の降りてくることに異議

総論的に生向時代は感じなかったか...

or GIGA スクール構想

瞬間的に金が落ちる。

「予算措置は「先」」 議会軽視

執行部側が問題を感したとき

逆に意見を返す

返し

声を出してやること。

本当の平等をいふこと。

優先順位をいふことには 近頃市町村でも

横で見ているだけか 情けない

→ 学習、という行為は。

今は「どうも」だと思ってる

「同等・品」の取っかき状態に陥っている。

どういふ場にはいふこと考へる。

誰か、ZUFAC 自分=ととて、

かたは、い、理解しない。

スピ-ワ-⑤

友岡一郎さん (公職研)

守らばいい 目立たない人たちに  
どうアロー子。

国体会員

自治体学会

夜下で談議を知り合った方に

自治体職員研修会に書いてもらったこと

以前執筆したこと 「守らばいい」

松下圭一先生に

「書くこと守ることも仕事」と書かれています。

完全に守ることはできない

どういう自治体学会であらうか、

編集後記にあり自治体のことを書いたら

編集長から 自治体の人を書いてもらえ。

強張り自治体を応援する ことには

強張りない 自治体を助けるべき。

これもあり得る覚悟の上で執筆した?

守らばいいは先ず 前提

[ 守らばいい  
= 気をつけたい人の行動あり ]  
「立たない人」といふこと

気をつけたい人は声をあげて

「知られてくれない市民がいっぱい」  
「うそでいい市民がいっぱい」

自治体学会規約の2条

何のためにあるのか?

立ち退く認識の無いと 言論しない自治体学会、

「自治体学会でも声をあげていいのか?」とある。

国体会員も規約の理解を以て入会していいはず。

言ってる人がいないと、  
どういう自治体学会であらうか。

荒下 弘

立場にFの判断軸がわかる。

行印の子の意味がわかる。今までのFも対応  
できるのでは？ 時間軸も含め対応可能に。

多様性。お互いを認め合う学会に。

← <タレントメッセージング>  
合意形成できるか？何もできないか？

橋詰 弘

Fの解決あり

... 5.15の業Fでも感じられる。